

テセントリク+アバスチン療法を受けられる

説明医師 _____

説明看護師(外来) _____

様へ

看護師(病棟) _____

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日 (治療前日)		治療 2 日目 (退院日)
目標	心身共に安定した状態でテセントリク+アバスチン療法を受けられる テセントリク+アバスチン療法ダイアリーの記録ができる 副作用が最小限で治療を終了することができる 感染予防の自己対策が理解でき実行できる		
検査	身長体重測定 尿検査、体調確認を行ない、 治療を決定します		
食事	制限はありません		朝食後に退院です
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します) 歯科口腔外科で診察があります		点滴前に留置針を挿入します 点滴の針を入れている箇所を観察を します 点滴終了後留置針を抜きます
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師に お渡しください		以下の点滴を行います(約3時間) 1) 生理食塩液 2) テセントリク 3) 生理食塩液 4) アバスチン 5) 生理食塩液
行動	運動制限はありません シャワーは可能です		
説明	医師より説明 (外来又は入院時) ・治療と副作用について ・化学療法について 看護師より説明 ・入院生活について ・化学療法について ・テセントリク+アバスチン ダイアリーの記録について 薬剤師より説明 ・薬の副作用について ・持参薬確認		看護師より説明 ・点滴投与中の注意点について
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します		医師より説明 ・退院後の治療計画、 療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活に ついて

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

02-Z51-2

2023.2.27 版

京都第一赤十字病院